

館山市地区公民館再編計画(案)

令和8年 月

館山市教育委員会 中央公民館

目次

第1章 計画策定の趣旨等

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の位置づけ	2

第2章 公民館の現状と課題

1. 人口減少	3
2. 公民館等の利用状況	3
3. 施設の老朽化と維持管理費用	6
4. 地区公民館活動の課題	7

第3章 今後の進め方

1. 公民館統合の必要性	8
2. 再編の考え方	8
3. 具体的な再編の方向	10

第1章 計画策定の趣旨等

1. 計画策定の趣旨

社会教育施設である公民館は、生涯学習の拠点として各種講座やサークル活動をとおして、仲間づくりや健康増進、地域社会とつながりを深めるなど、「生きがいづくり・健康づくりの場」としての本来の役割に加え、「地域交流・地域活動の場」として地域コミュニティの拠点や、災害時には避難場所となる防災拠点としての役割も担う等、地域の重要な拠点となっています。

人口減少や少子高齢化、社会環境の変化などにより、地域住民のつながりが希薄となる中、増加する高齢者が、孤独にならず豊かな人生を送るため、趣味の活動や講座学習をとおして、仲間づくりや人とつながりが持てる拠点として、また、地域コミュニティを維持するための活動拠点として、時代の変化とともに、その必要性・重要性がますます高まっています。

一方、地区公民館の利用者は減少傾向にあり、施設の稼働率も低く、十分に利用されているとは言えない状況にあります。利用者の内訳をみても、高齢化と固定化が進行し、新たな利用者層が増えなければ、今後更なる減少が予想されますが、施設の老朽化が進行し、維持管理に多額の費用が必要な事から、利用者層の拡大に必要な施設の改修やサービスの充実を図ることが困難な状況にあります。

今後、地区公民館が人づくり、地域づくりの拠点として、その機能を十分に発揮するためには、時代のニーズに合った施設規模、施設機能、提供する学習コンテンツ、サービス等「質の充実」を図る必要があります。

本市では、建設から30年以上経過した公共施設が全体の8割に達し、将来的に厳しい財政状況が予想される中、中長期的な視点による施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施するため『館山市公共施設等総合管理計画』を平成29年に策定し、これには地区公民館等の再編も含まれています。

以上のような状況を踏まえて、持続可能な施設運営を確保し、将来にわたって市民一人ひとりが「学べる」環境を維持し、その活動を通じて市民が主役となる「市民主体のまちづくり」が促進される事を目的として『館山市地区公民館再編計画』を策定しました。

2. 計画の位置づけ

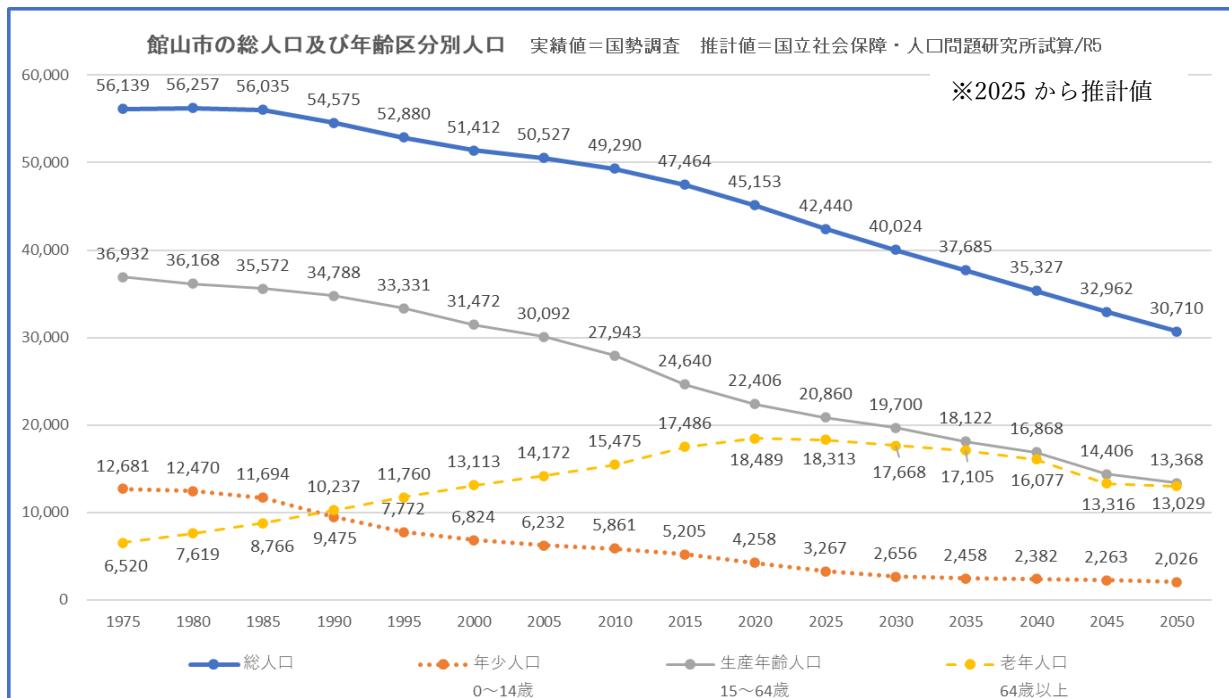
本市は、平成29年6月に中長期的な視点による公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施するため『館山市公共施設等総合管理計画』を策定し、その後、公民館等については、個別施設の具体的な対応方針として令和4年3月に『館山市公共施設 個別施設計画<学習等供用施設・地区公民館>』を定めました。本計画は、この総合管理計画・個別施設計画の実施計画に位置付けられます。

第2章 公民館の現状と課題

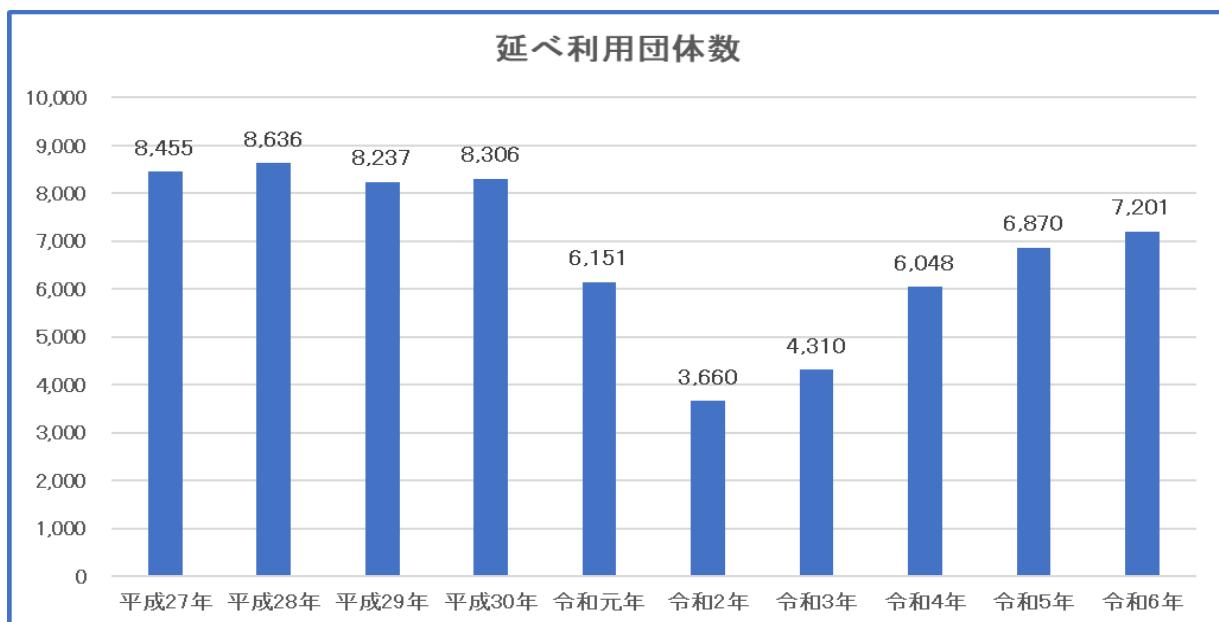
1. 人口減少

本市の人口は、昭和55年をピークに減少を続けており、令和32年にはピーク時の半分近くの約3万人にまで減少すると見込まれます。

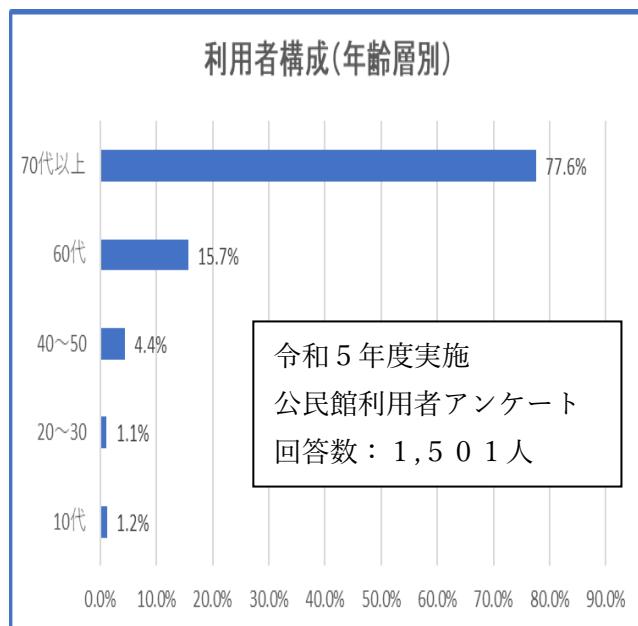
現在の公民館の数は、人口ピーク時と同数ですが、減少していく人口動向を踏まえ、再編を検討する必要があります。



2. 公民館等の利用状況



館山市 地区公民館 稼働状況											
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
館山	延べ利用団体数	957	1,007	992	1,045	875	331	411	657	732	674
	稼働率	31.9%	33.7%	33.4%	35.0%	29.4%	11.1%	13.7%	22.0%	24.5%	22.8%
北条	延べ利用団体数	3,163	3,250	3,113	3,188	1,786	1,271	1,574	2,167	2,478	2,554
	稼働率	35.2%	36.3%	34.9%	35.6%	20.0%	14.2%	17.5%	24.2%	27.6%	28.8%
那古	延べ利用団体数	741	734	721	649	524	199	246	388	418	726
	稼働率	24.7%	24.6%	24.3%	21.7%	17.6%	6.7%	8.2%	13.0%	14.0%	24.6%
船形	延べ利用団体数	329	255	242	303	261	178	211	310	312	293
	稼働率	11.0%	8.5%	8.1%	10.1%	8.8%	6.0%	7.0%	10.4%	10.4%	9.9%
西岬	延べ利用団体数	357	331	304	343	244	107	102	315	450	401
	稼働率	8.9%	08.3%	7.7%	8.6%	6.1%	2.7%	2.6%	7.9%	11.3%	10.2%
西岬 分館	延べ利用団体数	112	107	104	107	90	56	63	90	84	95
	稼働率	2.8%	2.7%	2.6%	2.7%	2.3%	1.4%	1.6%	2.3%	2.1%	2.4%
神戸	延べ利用団体数	594	610	398	213	214	109	106	180	218	255
	稼働率	19.8%	20.4%	13.4%	7.1%	7.2%	3.7%	3.5%	6.0%	7.3%	8.6%
富崎	延べ利用団体数	183	163	169	168	91	45	63	114	168	168
	稼働率	6.1%	5.5%	5.7%	5.6%	3.1%	1.5%	2.1%	3.8%	5.6%	5.7%
豊房	延べ利用団体数	566	764	772	820	700	369	430	500	567	596
	稼働率	18.9%	25.6%	26.0%	27.4%	14.4%	12.4%	14.3%	16.7%	19.0%	20.2%
館野	延べ利用団体数	632	617	624	653	611	276	322	491	583	548
	稼働率	21.1%	20.6%	21.0%	21.9%	20.5%	9.3%	10.7%	16.4%	19.5%	18.6%
九重	延べ利用団体数	821	798	798	817	755	719	782	836	860	891
	稼働率	27.4%	26.7%	26.9%	27.3%	25.3%	24.1%	26.1%	28.0%	28.8%	30.2%
合計	延べ利用団体数	8,455	8,636	8,237	8,306	6,151	3,660	4,310	6,048	6,870	7,201
	平均稼働率	20.8%	21.3%	20.4%	20.3%	15.5%	09.3%	10.7%	15.1%	17.0%	18.2%



令和5年度に実施したアンケート調査によると利用者は70代以上が全体の77.6%を占め、圧倒的に高齢者の利用が多い事が分かります。

平成27年度から公民館の利用件数は14.8%減少しています。この間、利用者の中心である高齢者人口が増加しているにも関わらず減少しているのは、利用者が固定化し、その中で、さらなる高齢化により利用者離れが進んでいる事が想像されます。

公民館名	地区公民館 サークル・会員数 推移									
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6度		令和7度	
	サークル数	会員数	サークル数	会員数	サークル数	会員数	サークル数	会員数	サークル数	会員数
館山地区公民館	16	166	16	158	15	164	14	152	11	123
那古地区公民館	13	126	13	115	11	97	12	116	9	77
船形地区公民館	4	30	4	28	4	28	3	16	4	28
西岬地区公民館	8	137	9	149	9	152	9	150	8	137
〃 分館	2	16	2	14	2	14	2	11	2	12
神戸地区公民館	19	240	21	242	17	168	18	181	19	214
富崎地区公民館	4	43	4	43	4	47	3	26	3	26
豊房地区公民館	18	168	15	151	14	148	13	141	12	125
館野地区公民館	17	188	16	179	16	163	16	152	14	148
九重地区公民館	7	59	7	55	6	44	6	45	9	51
若潮ホール	13	129	11	102	9	73				
菜の花ホール	70	675	63	599	58	829	58	830	59	597
豊津ホール	8	74	9	108	7	82	11	94	11	92
合 計	199	2051	190	1943	172	2009	165	1914	161	1630

公民館名	サークル数	会員数				地区外割合
		合計	地区内	地区外	市外	
館山地区公民館	11	123	88	25	10	28.5%
那古地区公民館	9	77	35	38	5	55.8%
船形地区公民館	4	28	16	9	3	42.9%
西岬地区公民館	8	137	110	23	4	19.7%
西岬地区公民館分館	2	12	10	2	0	16.7%
神戸地区公民館	19	214	118	86	8	43.9%
富崎地区公民館	3	26	15	11	0	42.3%
豊房地区公民館	12	125	24	80	21	80.8%
館野地区公民館	14	148	53	65	30	64.2%
九重地区公民館	9	51	29	15	7	43.1%
菜の花ホール	59	597	164	248	106	59.3%
豊津ホール	11	92	33	38	13	55.4%
全地区平均						46.1%

利用者の中心であるサークルについて、令和3年度～7年度の5年間を見るとサークル数で38減(19.1%減)・会員数で421人減(20.5%減)と大幅な減少となっています。

また、サークル会員の内訳をみると、地区外会員の割合が46.1%となり、既に利用者は、地区にこだわらず自分の好きな活動を行っているサークルを選択し、活動していることが伺えます。

3. 施設の老朽化と施設管理費用

○老朽化<簡易評価>

診断:令和3年度 築年数:令和7年4月1日現在

施設名称	建築年	耐用年数	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
館山地区公民館	S49.7	24	50	D①	B	C	C	C	47
豊津ホール	S59.3	47	40	B	B	B	B	B	75
北条地区公民館 (菜の花ホール)	H6.11	47	30	B	B	B	B	B	75
那古地区公民館	S50.1	24	50	A	B	C	C	C	55
船形地区公民館	S48.5	24	51	B	A	C	C	C	60
西岬地区公民館	S53.1	50	47	D②	D②	B	B	B	54
西岬地区公民館分館	S59.8	50	40	D	D	C	B	B	38
神戸地区公民館	S50.3	24	50	A	B	C	C	C	55
富崎地区公民館	S50.6	24	49	B	B	C	C	C	53
豊房地区公民館	S49.12	24	50	C	B	C	C	C	50
館野地区公民館	S51.6	24	48	D③	B	C	C	C	47
九重地区公民館	S50.4	24	50	B	B	C	C	C	53

※D①D②D③は改修工事実施済

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準		
	概ね良好		
	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		
広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)			
早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えてる) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)			
劣化			
A	概ね良好		
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)		
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えてる) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)		

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準		
	20年未満		
	20~40年		
C			40年以上
D			経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

①部位の評価点

評価点
A 100
B 75
C 40
D 10

③健全度

総和(部位の評価点 × 部位のコスト配分) ÷ 60

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上 C	→ 40	× 5.1	= 204
2 外壁 D	→ 10	× 17.2	= 172
3 内部仕上げ B	→ 75	× 22.4	= 1,680
4 電気設備 A	→ 100	× 8.0	= 800
5 機械設備 C	→ 40	× 7.3	= 292
			計 3,148
			÷ 60
			健全度 52

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

いずれの建物も建築から相当の年数が経過しており、老朽化による修繕が課題となっています。

○施設管理費用

単位:万円

	R2	R3	R4	R5	R6	平均値
人件費	1,673	1,704	1,605	1,668	1,627	1,655
光熱水費	271	293	388	415	462	366
修繕工事	137	251	1,594	197	127	461
委託料	915	949	1,242	1,053	984	1,028
合 計	2,997	3,196	4,823	3,334	3,199	3,510

公民館等12館の管理運営に要する年間費用はR2年～R6年の5年間平均で3,510万円、1施設当たりでは年間293万円となっています。
ただし、この金額は、その年に行われる修繕工事に大きく左右されます。

○財政推計

令和4年長期財政推計より

単位:億円

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
歳 入	179.0	178.6	178.4	174.4	174.1	172.9
歳 出	178.1	178.3	178.6	180.0	180.2	178.4
財政調整基金	6.8	4.3	0	0	0	0
形式収支額	0.9	0.3	△0.2	△5.6	△6.1	△5.5

令和4年度に作成した長期財政推計によると、令和9年度から経常収支比率がマイナスになると推計されています。

4. 地区公民館活動の課題

①稼働率が低い。

令和6年度の稼働率は、18.2%となっている。

②サークル数が少なく、会員数も減少している。

1館あたり2～19サークル(平均9.3サークル 菜の花ホール除く)：令和7年度会員数は10年間で520人減少している。

③活動と施設のミスマッチがある。

施設規模が小さく、運動系のサークルでは手狭になっている。

④選択肢が少ない。

身近な地区公民館では、上記の理由から活動の選択肢が限られる。

第3章 今後の進め方

1. 公民館統合の必要性

①「生きがいづくり」「健康づくり」の機能強化が必要となっている。

老齢人口が増加する中、孤独にならず豊かな人生を送るために、人や地域とつながりが持てる場が身近に必要となっている。拠点となる公民館には、趣味の活動や各種講座等、良質で活発な活動の提供が求められている。

②施設の中規模化が必要となっている。

いろいろな「サークルのニーズ」に答えるため、施設の中規模化が必要となっている。

③施設の老朽化と厳しい財政予測

建築から50年以上経過した施設が大半で、大規模改修や場合によっては建て替えが必要だが、厳しい財政予測により対応が難しく、現状数を維持する事は困難な状況となっている。

④中央公民館利用者の分散化が必要となっている。

サークル活動が中央公民館に集中し、取り合いとなっている。中央公民館以外に同機能の施設があれば、分散化できる。

2. 再編の考え方

①市内をブロック分けし、ブロック内で1つに再配置を検討する。

市街地は半径2km、それ以外の地域は半径3kmの円でブロックを形成する。(高齢者の移動を考慮)全7ブロックとなる。

②学校再編での空き学校(空き教室)を複合施設として活用し、その一部に公民館機能を移転する。

複合施設とは、異なる種類の公共施設や民間施設を一つの建物や敷地内に集約・統合した施設のこと。

複合施設化の効果:今まで機会がなかった人たちとの交流が生まれ、若い世代等これまでにない年齢層の参加も期待でき、地域の活性化も期待できる。

③公民館利用のフリー・共通化意識の徹底を図る。

④廃止となる地区公民館は、地元の希望があれば地域の集会所の位置づけで、地元の自主運営も可能とする。

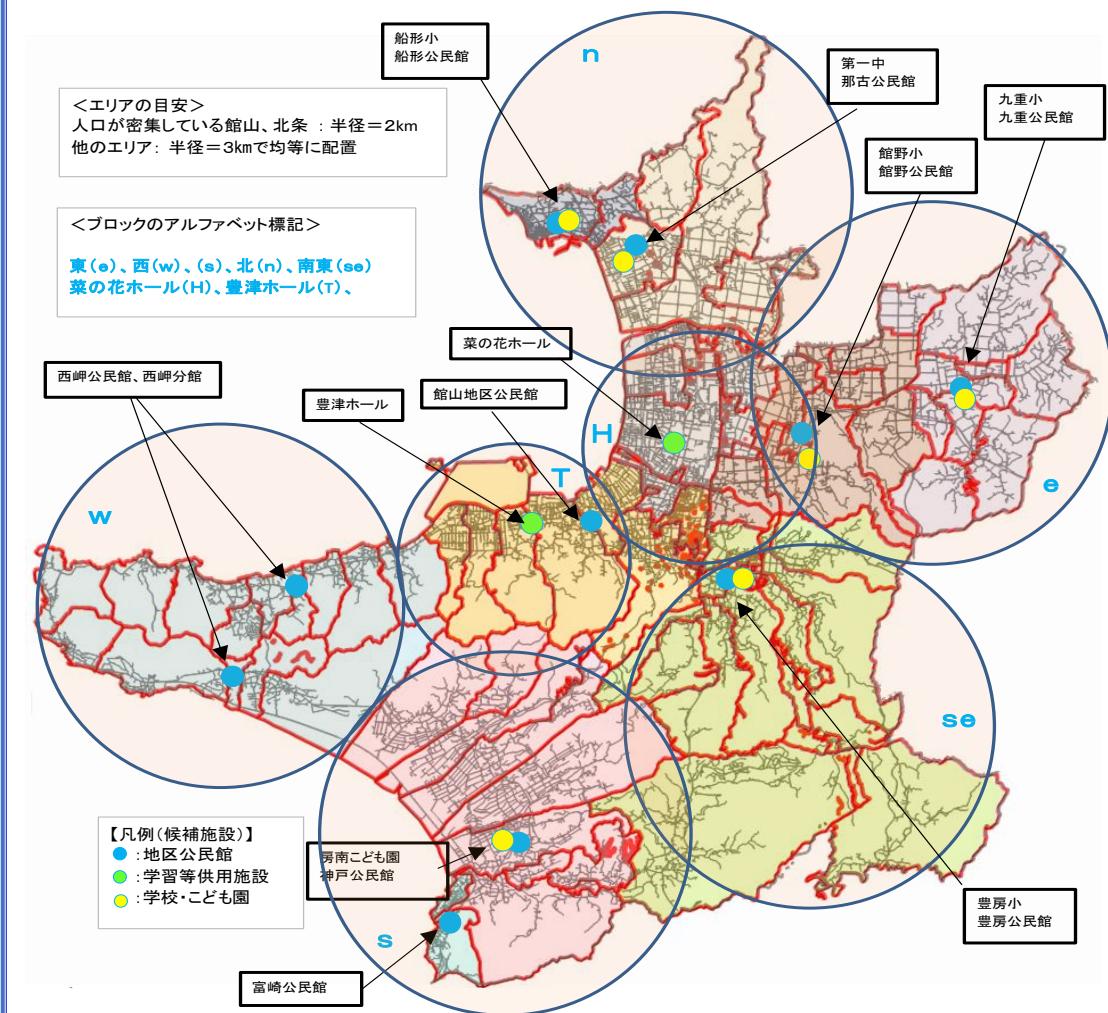
⑤ブロック別の方針について、計画策定時のものであり、移転を進める際に資金的に良い計画や不測の事態等が生じた場合には、変更する場合がある。

○ブロック分け図　－全7ブロッター－

ブロッター

- 地図上に半径2km(街中)及び半径3km(郊外)の大きさの円を置いています。
- ブロックごとに地区公民館を1つ配置する。

	各ブロック内で、再配置候補として考えられる施設
H	菜の花ホール、館野地区公民館、館野小学校跡活用
T	豊津ホール、館山地区公民館
n	那古地区公民館、館山第一中学校跡活用、船形小学校跡活用、船形地区公民館
e	九重地区公民館、九重小学校跡活用、館野地区公民館、館野小学校跡活用
se	豊房地区公民館、豊房小学校跡活用
s	神戸地区公民館、房南こども園跡活用、富崎地区公民館
w	西岬地区公民館



3. 具体的な再編の方向　—ブロック別の方向性—

○ブロックn

対象施設:船形地区公民館・那古地区公民館・船形小学校・第一中学校
統合候補施設:第一中学校(複合施設とし、その一部に公民館機能を移転)
廃止公民館:船形地区公民館・那古地区公民館
時 期:令和13年度以降(令和13年度に学校統合で空き校舎に)
※生徒数の減少により空き教室が多くなった場合は、前倒しで
空き教室の活用も検討する。
理 由:空き学校を複合施設とした場合、施設規模等から中学校の方が
よりふさわしい。

○ブロックH

対象施設:菜の花ホール・館野地区公民館・館野小学校
統合候補施設:菜の花ホール(現状のままの運営)
廃止公民館:館野地区公民館
時 期:現状のまま継続
理 由:館野地区公民館と館野小学校はブロックeとかぶっている事や
菜の花ホールがブロックの中心付近にある事を考慮し選定

○ブロックT

対象施設:館山地区公民館・豊津ホール
統合候補施設:豊津ホール
廃止公民館:館山地区公民館
時 期:統合にともなう施設改修等条件が整った後
理 由:建物の老朽化や健全度を考慮し選定

○ブロックs

対象施設:神戸地区公民館・富崎地区公民館・房南こども園
統合候補施設:房南こども園(複合施設とし、その一部に公民館機能を移転)
廃止公民館:神戸地区公民館・富崎地区公民館
時 期:令和10年度以降(房南こども園が房南学園に移動後)
理 由:複合施設とした場合に、施設規模がよりふさわしい。

○ブロックW

対象施設:西岬地区公民館・西岬地区公民館分館

統合候補施設:西岬地区公民館

※長期的な視点から、現在の土地で建て替え等も検討する。

廃止公民館:西岬地区公民館分館

時 期:施設整備が終了した後

理 由:建物の老朽化や健全度、分館が土砂災害警戒区域にある事を考慮し選定

※西岬小敷地が国有地のため現状では対象外とするが、空き学校を使うという基本方針に合致する事や、西岬小に対する地元の強い思いも考慮し、候補施設変更も視野に入れ、状況の変化を注視する必要がある。

○ブロックSe

対象施設:豊房地区公民館・豊房小学校

統合候補施設:豊房小学校(複合施設とし、その一部に公民館機能を移転)

※豊房小学校敷地内にある施設(学童クラブ施設等)も含めて検討する。

廃止公民館:豊房地区公民館

時 期:令和9年度以降(令和9年度に学びの多様化学校開設予定)

理 由:空き学校を候補とするため。

○ブロックe

対象施設:館野地区公民館・九重地区公民館・館野小学校・九重小学校

統合候補施設:九重小学校(複合施設とし、その一部に公民館機能を移転)

廃止公民館:館野地区公民館・九重地区公民館

時 期:令和9年度以降(令和9年度に学校統合で空き校舎に)

理 由:九重小学校がブロックの中心付近にある事や、九重こども園も併設している事から複合施設として、よりふさわしい。

※廃止となる公民館は地元で希望がある場合は、地域の集会所として自主運営での利用は可能とする。

※ブロック別の方向性について、上記は計画策定時のものであり、移転を進める際に資金的に良い計画や不測の事態等が生じた場合には、変更する場合がある。

—参考資料—

○複合施設 先進事例紹介

「複合施設」とは

公共施設の複合施設とは、異なる種類の公共施設や民間施設を一つの建物や敷地内に集約・統合した施設を指します。例えば、図書館と公民館、スポーツ施設と文化施設などが一つの建物に併設されている場合などが考えられます。

【先進事例①】

清和地域拠点複合施設「おらがわ」

君津市では、2024年1月に旧小学校校舎を利用した「清和地域拠点複合施設(愛称：おらがわ)」がオープンしました。当施設は、「人が集いにぎわいが生まれる地域の拠点として、清和地域市民センター・清和公民館・清和こども園・清和地域活性化センターを複合整備したものです。多様な人々が活動・交流することにより、地域の活性化・持続可能な地域づくりを目指しています。

The facility consists of four interconnected buildings on three floors:

- 3階 (Top Floor):** Library (図書室), Community Center (市民センター), Public Hall (公民館), Children's Garden (こども園).
- 2階 (Middle Floor):** Library (図書室), Community Center (市民センター), Public Hall (公民館), Children's Garden (こども園).
- 1階 (Ground Floor):** Library (図書室), Community Center (市民センター), Public Hall (公民館), Children's Garden (こども園).

清和地域拠点複合施設「おらがわ」とは？

清和地域拠点複合施設（愛称：おらがわ）は、清和地域市民センター・清和地域活性化センター・清和公民館・清和こども園の4つの施設が一つの建物に複合化された施設です。「人が集いにぎわいが生まれる地域の拠点」として、多様な人々が活動・交流することにより地域の活性化・持続可能な地域づくりを目指しています。

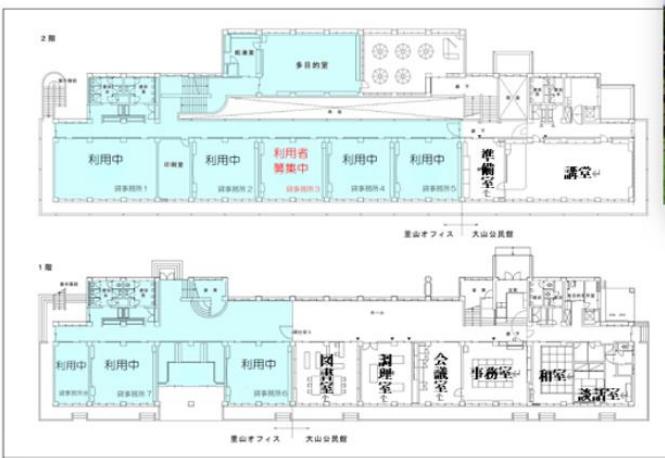
清和地域市民センター **清和地域活性化センター** **清和公民館** **清和こども園**

【先進事例②】

鴨川市大山公民館

【施設変遷】

- 平成 24 年度（7月～2月）：空き校舎になっていた旧大山小学校（一部）を改修[←]
平成 25 年度（4月～）：「大山公民館」開設（1階部分：526.78 m²、2階部分：267.21 m²）[←]
平成 29 年度（10月～）：「里山オフィス」条例制定（貸事務所募集・稼働）[←]



【事業概要／大山公民館】

総事業費：3,675 万円[←]

事業内容：1階部分（526.78 m²）バリアフリー化[←]

▷事務室・会議室・図書室・和室・子どもルーム[←]

▷入口部分に電動式階段昇降機・多目的トイレを設置[←]

2階部分（267.21 m²）[←]

▷旧音楽室を講堂として使用[←]

（音楽室・イベントルームとして使用）[←]